

## 報 告 書

学校法人東洋学園 近畿情報高等専修学校において、下記日時に「学校評価協議会」を開催いたしました。協議会では、意見交流を行い以下の意見と評価がありましたことを報告いたします。今後は、このご意見を受け止め、より良い学校運営と教育活動になりますよう改善に努めてまいります。

- 1 目 的
  - ・学校教育自己診断アンケート調査結果の客観性、透明性を図る。
  - ・学校家庭地域が共通理解を持ちその連携協力により学校運営の改善にあたる。
- 2 日 時 令和元年 10月18日（金） 18：00～19：00
- 3 場 所 近畿情報高等専修学校 図書室

学校評価協議会委員名簿（順不同）

職 名	所 属
学校長	近畿社会福祉専門学校
学校長	枚方市立渚西中学校
代表取締役社長	株式会社 三共プラス
室 長	学校法人大阪国際学園本部事務局
主 任	株式会社 JTB 教育旅行大阪支店 営業第一課
会 長	近畿情報高等専修学校 同窓会

## 学校評価協議会会議報告

1 開 会 令和元年 10月18日 18時に開会しました。

2 校長挨拶

開会の挨拶を本校校長 小寺 克一が行いました。

3 学校評価協議会の役割と運営について 副校長山森より

学校評価協議会の役割と運営についての説明を行いました。

4 学校関係者及び学校評価協議委員の紹介 教頭南より

本校関係者7名及び学校評価協議委員の紹介を行いました。

5 学校評価協議会

議案1 本年度の取り組みについて 副校長山森より

今年度、施設を整備した。全教室にプロジェクターを設置し、タブレットPCも新しくした。

生徒の学力向上に向けて、土曜講座の充実。テキストに「マナトレ」を活用。

小論文講座の開講三年目。多くの生徒が受講。

1学年から進路学習を行っている。その一環として、専門学校、大学担当者に来校してもらい、生徒が興味のある学校の話聞き、進路選択の助けとなる取り組みも実施している。

教員研修を重ね、教員の育成を図り、授業力を向上させている。

議案2 生徒の状況について 各部長より

教務部長 高島、生徒指導部長 西垣、進路指導部長 密が平成30年度の各報告を行いました。

議案3 平成30年度学校教育自己アンケート調査結果について

### 【意見交流】

[生徒アンケート結果について]

- ・NO1「学校に行くのが楽しい」、NO2「自分の学級が楽しい」、という質問に対して多くの生徒が肯定的な評価を出している。先生方がよくやっていると思う。取り組みを行っている成果がでている。
- ・「自分の学級が楽しい」という質問に対して、学年が上がるごとに肯定的評価が増えている。しっかりと取り組んでいる表れである。しかし一方で、NO28 生徒会やクラブ活動への参加が消極的なのは現代の若者気質なのか。修学旅行に比べて、文化祭の評価が少し低く、興味ある行事を増やしてほしいとの意見は気になる。
- ・生徒が礼儀正しくなっていると感じる。
- ・教育相談体制が整備されている。生徒が主体的に活動できるように学校全体で支援しているという質問に対して、先生は一生懸命取り組んでいるようだが、生徒は必ずしもそう考えていない。

- ・NO16の「学校生活についての先生の指導は納得できる」について、3年生の数字が気になる。
- ・NO24の修学旅行や、その他行事に楽しく参加しているのがよくわかる。
- ・どの設問も学年が上がるにつれ肯定的意見が多くなっているが、NO8、NO9の「板書をしっかりノートにとっている」「課題を期限までに提出している」に関しては、2年生で数値が下がっている。授業のポイントや何らかの対策が必要かと考える。

#### [教職員アンケート結果について]

- ・教員間の各教科でのまとまりや、人間関係は良いのではないかと考えられる。
- ・NO41の「服務規程への自覚がある」について、肯定的意見が多い。今日の教育界を考えると誰か一人が規律違反すると学校全体の問題としてとらえられる。職員の人権意識向上のため教員指導を継続してほしい。
- ・NO45の「清掃が行き届いている」という評価が毎年良い。学校生活の基本である。学校全体が安定している様子がこの評価で伺える。
- ・NO53の生徒の個人情報に関する管理については、しっかりと行うことが大切である。

#### [保護者アンケート結果について]

- ・学校への信頼が高い。家庭訪問をされていることも学校の信頼につながっていると思う。
- ・全体的に肯定的高評価が出ている。生徒に対して常に誠実に対応している先生方の姿が、保護者にも伝わっている。
- ・生徒が順調に学校生活を送ることで、保護者も学校に理解を示してくれる。
- ・文化祭などでは、地域の方も来校したくなる取り組みをされている。地域の方も、学校に良い印象を持っている。

#### 【意見交流総括】

概ね肯定的な評価を得られている。しかし項目によっては、今後の対応を考えていく必要がある。生徒の生きる力を育み、学力習得にも力を入れ、教師一人一人が向上心を持ち生徒指導・教科指導に努める。

## 6 校長閉会の挨拶

高等専修学校は、技術を身に着ける学校であり基本的には就職させる学校と考えられていますが、本校は、就職も進学もできる学校として取り組んでいます。

本校の生徒達には、自分の興味あるものには積極的に取り組んでもらいたい。そして、多くの体験をすることで、充実した学校生活を送ってもらいたい。

本日頂いたご意見を受け止め、本校の努力目標として取り組んでまいります。本日は誠にありがとうございました。